

基地のある危険を 過去と今日の問題から考える

オスプレイ

木更津駐屯地に7月配備 脅かされる命と生活



内港北公園に抗議、監視行動に集まった人たち。中央でマイクを持つのが野中さん

木更津港の名所、中の島大橋にはカメラを構える人が並びます。「来たぞ」。木更津の内港北公園に抗議と監視に集まった人たちの間から声が上がりました。岩国米軍基地を飛び立ったオスプレイは、7月16日午前11時過ぎ、君津方面の薄曇りの上空に回転翼を上へ向けた状態（ヘリモード）の特徴的なその機影を見せ始めました。木更津の陸上自衛隊駐屯地に頻りに離着陸を繰り返す大型輸送用ヘリコプターCH47とは明らかに異なる大きな飛行音をとどろかせて、木更津駐屯地の滑走路に着陸。7月10日に続き、これで2機目となる木更津駐屯地への暫定「配備」となりま



木更津駐屯地の滑走路に着陸寸前のオスプレイ

した。この日の抗議、監視行動に集まった人たちのなかに、「オスプレイ来るな いらぬ住民の会」（以下、住民の会）で事務局長を務める野中晃さんの姿がありました。「3年ほど前から、米軍のオスプレイの『整備』が木更津駐屯地内で行なわれています。今回は、佐賀空港への配備がとん挫して、木更津に17機が暫定

的に『配備』されることになったというものです。つまり、木更津駐屯地には『整備』されたものに、『配備』のオスプレイがさらに加わりまして、木更津駐屯地の増強と呼ばれるものです。オスプレイを

容認している木更津市は17機も『配備』されるというので、何もしいわけにはいかず基地係を作り直した。しかし配備に伴う本格的な訓練の内容を住民に明らかにしていません。と野中さんは憤ります。

前からあり、オスプレイが世界中でたびたび重大事故を引き起こしている『構造的欠陥機』であることはよく知られていました。それが木更津に来ること、これは大変なことだと思いました。それから、オスプレイについて勉強会をやりましょうと地域の人たちに呼びかけながら、『住民の会』を立ち上げました。2014年10月には500人規模の集会を行ないました。と木更津での住民の会の結成とその後の運動を語ってくれました。

さがあります。しかし、運動をすすめたことで住民の間に、オスプレイへの関心の高まりを感じています。木更津市民でオスプレイを知らない人はいないのではないのでしょうか。いい悪いは別として消費税がどうのというよりオスプレイの方が木更津では話題になります」と運動の進展で、住民の認識に変化が生まれているという野中さん。

今後、配備数が増え、訓練も行なわれ、市民の命と生活が脅かされることは必至です。「住民の会」を強化発展させること、住民目線の市議会に変えること、行政が住民の声を聞くようにすること、これらが三位一体になって運動を展開することが基本方針です。私は、保守と革新の壁を越えて取り組まれる「オール沖縄」の運動を教訓にしてがんばっていきたい」と野中さんは話していました。

住民の会を立ち上げ 500人集会も

住民意識も徐々に変化 三位一体の運動で

袖ヶ浦市で生まれ育った野中さんは長く神奈川県の方で公務員として仕事をし、在職中には60年安保の頃から組合活動にも携わってききました。退職後、故郷に近い木更津市に移り住み郷土史の研究にいそいそしていました。そんななか、2013年に、オスプレイの配備候補地に

木更津の名前があがる報道がありました。（翌年には「配備」から「整備」に変更）「沖縄での運動がその数年

「今日駐屯地周辺の様子を見てわかってもらったと思いますが、日常的に行なわれるCH47の訓練で木更津市民は慣れっこになっているところ

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

感謝の気持ちです」と降さんは話してくれました。



港の見える丘公園の「愛の母子像」

横浜港が一望できる高台にある港の見える丘公園。麓（ふもと）には全国的にも有名な元町、中華街がある観光スポットです。この公園の閑静なフランス山という地区に「愛の母子像」があります。若い母親が膝の上の小さい子を抱かえ、もう一人の子の肩を抱

き穏やかな表情で海の方角に視線を向けている像です。像の台石には、「あふれる愛を子らに」と刻まれています。「和枝は療養中にも『海が見たい』と話していました。父の勇（2008年に逝去）

が、横浜市へ寄贈するという形で1985年1月17日に、港の見える丘公園に『愛の母子像』が建立されました。話すのは土志田和枝さんの兄の土志田隆さんです。

1977年9月27日の午後1時過ぎ、厚木基地を飛び立ったアメ

リ力海兵隊のファントム戦闘機は横浜市緑区荏田町の住宅地（現在は、横浜市青葉区荏田北3丁目）に墜落、乗員はパラシュートで脱出しましたが、9人の住民が被災しました。全身火傷を負った2人の

幼い子どもたちは翌日には亡くなり、2人の母である和枝さんも4年後に亡くなりました。

「昭和大学藤が丘病院に収容された和枝は、集中治療室

の施設「社会福祉法人 和枝福祉会」（現在、降さんは理事）を1988年に立ち上げました。規則で父は理事長にはなれませんが、利用者の方々の送迎にはバスが必要だと考えた父は大型の運転免許を取るなど精力的に活動しました。また和枝はバラが好きだったこともあり、横浜市青葉区にある『ハーブガーデン和枝園』という



土志田隆さん。「ハーブガーデン和枝園」で

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

海見つめる愛の母子像

横浜米軍機墜落事件から43年

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者

「多くの方々の皮膚提供やや激励もあって、和枝は『健康になれたら、何か恩返ししたい』とよく言っていました。父は、和枝が亡くなってから、そういう思いを実現することを考え、知的障がい者